

## 相模原市立小・中・義務教育学校 廃蛍光管・廃乾電池処分業務委託仕様書

### 1 目的

相模原市立小・中・義務教育学校から排出される蛍光管及び乾電池を廃棄物の処理及び清掃に関する法その他関係法令を遵守し、適正に処分することを目的とする。

### 2 用語の意義

この仕様書における用語の意義は次のとおりとする。

- (1) 発注者とは委託者をいい、受注者とは受託者をいう。
- (2) 従事者とは受注者に所属し、業務に従事するものをいう。

### 3 仕様事項

- (1) この仕様書は業務の概要を示すものであるから、この仕様書に定めのない事項であっても、受注者は発注者が必要と認めた業務は、契約金額の範囲内で実施するものとする。
- (2) 受注者は事故発生が予想されるときは、臨機に措置できる体制をとらなければならない。
- (3) 受注者及び従事者は、業務上知り得た機密を第三者に漏らしてはならない。その職を退いた後もまた同様とする。

### 4 業務委託する品目等

- (1) 処分品目：廃蛍光管・廃乾電池
- (2) 予定数量：廃蛍光管 2, 650kg（蛍光灯に限る）  
廃乾電池 950kg（アルカリ電池・マンガン電池に限る）
- (3) 搬入時期：令和7年10月から令和8年1月の発注者が指定する日
- (4) 履行期限：令和8年3月31日

### 5 業務内容

受注者は、発注者が別途契約した収集運搬業者が相模原市立小・中・義務教育学校から収集した廃蛍光管及び廃乾電池の処分を行う。

- (1) 廃蛍光管・廃乾電池は、収集運搬業者がドラム缶等の容器へ小・中学校分（義務教育学校分は小学校分）に分け、廃蛍光管・廃乾電池を分けて搬入する。

なお、廃蛍光管は、直管・丸管・異形管・割れた管ごとに選別し、ドラム缶等の容器に入れて搬入する。

また、搬入のために発注者がドラム缶等の容器の貸出を依頼した場合には、無償にて貸出すること。

- (2) 計量は、受注者が廃蛍光管・廃乾電池に分けて行い、計量票の控えを搬入した収集運搬業者へ引き渡す。
- (3) 発注者及び受注者は、廃棄物処理法の規定に従って、電子情報処理組織使用事業者が使用する電子情報処理組織（以下「電子マニフェストシステム」という。）を利用するものとする。ただし、発注者、運搬受託者又は受注者のいずれかの事情により電子マニフェストシステムが利用できない場合は、産業廃棄物管理票を利用するものとし、その帳票は運搬受託者が用意するものとする。

(4) 受注者は、受託した産業廃棄物の中間処理が完了したときは、情報処理センターに対して行う報告、又は、産業廃棄物管理票の写しを発注者に送付しなければならない。

#### 6 賠償責任

受注者は業務遂行において、発注者及び第三者に損害を与えたときは、その賠償の責を負うものとする。

#### 7 一般事項

作業に使用する材料等は、すべて品質良好で安全かつ環境に配慮したものを使用しなければならない。

#### 8 その他

この仕様書に定めのない事項又はこの仕様書について疑義が生じたときは、関係法令に従い、その都度、発注者と受注者が誠意をもって協議し、これを取り決めるものとする。